

まちネット岸和田会合録

日 時：平成19年6月27日（水） 18：30～20：40

場 所：市立中央公民館 3 階講座室

出席者：星川、辻野、池阪、森口、杉井、西出、中村、相良、金野、野村、松阪、奥

講師の紹介：村上 せつ さん（泉州焼陶芸家）

「須恵器」という言葉を聞いたことがありますか？須恵器は5世紀から6世紀にかけて日本全国で作られた陶質土器ですが、その発祥は、泉州地域（堺市南部～岸和田市）と考えられています。古くからこの辺りは、焼き物に適した粘土質の土が取れる所でした。泉州地域の良質な土を活かし、古代の須恵器を現代版にリニューアルした物が「泉州焼」と呼ばれる焼き物です。

泉州焼を全国に広めるために活動されている方の一人が村上さんです。

村上さんは、「陶芸の魅力を伝えたい！」、「泉州焼を全国に広めたい！」との思いから、泉州地域をフィールドに「泉州焼陶器まつり（4 月）」、「水間観音陶器まつり（11 月）」を開催するなど、精力的に活動されています。

そんな村上さんが伝えたい“泉州焼”の魅力とは…？ 地域を活かしたまちづくりとは…？「泉州焼とまちづくり」に携わっている村上さんは、これから先、どんなものを創り上げていくのでしょうか？村上さんの思い・夢について、明るく楽しく語っていただきます。



講演の概要：「泉州焼の魅力と地域を活かしたまちづくり ～想いを創り上げませんか～」

- 堺から泉南地域では非常に良質の土（泉州土）が採れる。その泉州土を活かして、焼いた焼き物が「泉州焼」です。
- 私自身も西念先生の指導を受けて、焼き物の魅力にはまるようになった。
- 現在では、水間観音陶器まつりを 11 月に開催しています。その祭りには全国各地からお越しいただき、焼き物の販売をしています。
- こういった催しを通じて、「多くの人が動くこと」がまちの活性化につながるのではないかと考えています。
- 人の集まる会場の雰囲気暖かいものになるように、「また来て見たい」「来て良かった」の声が聞こえることを願い、心の通う陶器まつりを目指しています。
- 私も、まだまだ勉強中です。こういった機会を通じて陶器の魅力を広めていきたいと思います。

